



News Letter

# みんなのまちづくり

第36号 / 2012. 1. 18

発行 明姫幹線南地区 まちづくり協議会 広報部会

## 明姫幹線南地区まちづくり協議会会員の皆様へ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

平素はまちづくり協議会会員各位には、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は東北各地にて未曾有の大災害に見舞われ全国に多大なる影響を与え、特に政財界の不安定が各地域で景気の動向に悪影響を与えましたが、昨今やや回復の兆しが見え始め、私たちにとって今年は回復基調の意識改革をもって行動すべきかと思考する次第です。

平成 24 年の年頭にあたり、「明姫幹線南地区の活性化と、進化の強化」の促進を図ります。近年、明姫幹線南地区まちづくり協議会もややマンネリ化傾向にあり、今年は皆様方と市政との繋ぎの担い手として役員全員で取り組み、更なる各位の一層のご支援、ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

最後に、今年は会員各位にとりまして、夢多き、素晴らしき年となりますように祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。



明姫幹線南地区まちづくり協議会

会長 田中 義勝

明姫幹線南地区まちづくり協議会 会長 田中 義勝

(広告)

# 第6回総会開催！

去る平成23年5月15日（日曜日）午前10時から伊保東部自治会館にて第6回総会が開かれました。前回と同様に、明姫幹線南地区内である伊保東部の自治会館を利用させていただきました。

総会の出席者は36名でした。議案については、原案どおり了承されました。平成23年度は役員改選の年であり、塩崎真一郎さんに代わり新しく田中義勝さんが会長となり、2年間ご苦労いただくことになりました。

意見交換では「市街化編入への動き、協議会の今後の方針を教えてください」、「当地区の今後の土地利用の方向性について、住民の意見を県や国に伝えて欲しい」等の意見がありました。

これに対し、事務局（市）側からは、「近年の人口減少の変化の中で市街化への編入が難しい状況になってきています。その難しい状況の中で、別の手法で農地と住宅が共生出来ないか検討して、県と協議しているところです。市の方ももちろんですが、地元の意見を聞きながら一緒に前へ進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。」との回答を頂きました。

また、発足当初より当協議会に尽力いただいている樋口都市設計の樋口信子さんに参加していただきました。「当初は市街化区域への編入を目指して発足したのですが、その後の世間の変化により、市街化編入は難しい状況になりました。現在は資材置き場・青空駐車場などが混在したぐちゃぐちゃな変な街にならないように、この数年間街を守り続けてこられたと思います。目に見える変化はないですが、法律でもなく協議会の皆さんの努力によって、環境を守られてこられたということは非常に全国的にも珍しい地域で、誇りをもっていただいていることです。地元のことは地元の方が良くご存じですし、それが地元にとってプラスになるのか、マイナスになるのかはという判断は行政サイドだけではなく、地元と一緒に動いていかないと上手くいかないと思います。市街地の下水道の整備が終わり、調整区域にも伸びてくる可能性があるようなことを聞いております。そろそろ何がしかの、目に見えた何らかの行動を踏み出す転換期に差し掛かっているのではないかと思います。市街化区域に入らなくても、調整区域でも活用できる方法がありますので、市街化区域に入ることが目的ではなく、どういう土地の使い方をするのか、どうしたいのかが重要だと思います。そういったことを含めて勉強会なりを行いながら、ここで気合を入れなおして、チャレンジする時期だと思っております。」とご意見を頂きました。



㊤ 第6回総会の様子 ㊦ 樋口信子さん

# 平成 23 年に第 4 次高砂市総合計画、高砂市都市計画マスタープランが策定されました

## 第 4 次高砂市総合計画

総合計画とは、市民と行政が一体となり、今後にふさわしいまちづくりを総合的かつ計画的に推進していくために、将来行動の指針として、将来を展望した都市像の基本的な方向を示すものです。策定にあたっては、これまでの基本構想における考え方をふまえ、時代に即した計画として本市の最上位計画に位置づけています。また、さまざまな分野別で策定している計画と相互に関連性を図り、体系づけています。

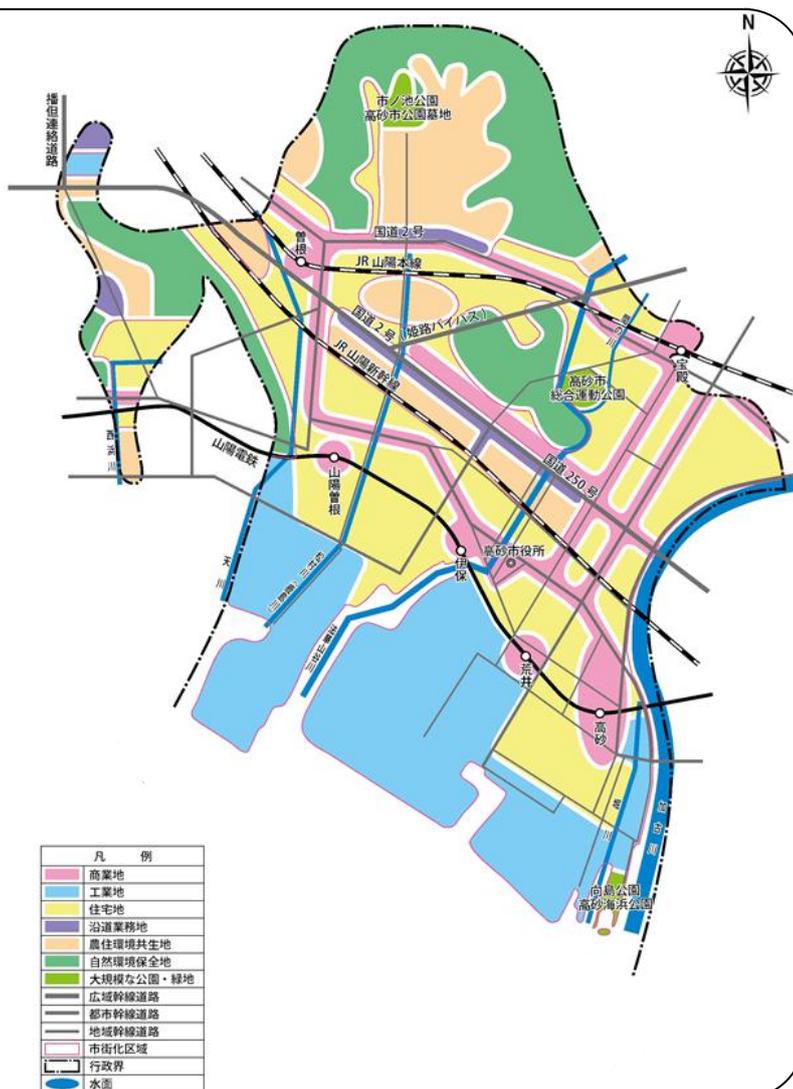
総合計画の中で、自然と調和した環境共生都市を基本目標の1つとし、安全で快適な都市基盤の整備をめざし、持続可能な土地利用を目的として、次のように掲げています。

『市の資源の保全・活用、田園集落等の環境整備、無秩序な開発や市街化の防止に努めます。市街化調整区域については、緑豊かで計画的なまちづくりが形成されるよう努めます。用途地域については、宅地造成の規制・誘導により、良好な都市環境を形成します。また、それぞれの地区の特性に応じた地区計画を推進します。』

## 高砂市都市計画マスタープラン

マスタープランとは、都市計画の観点から長期的な視点にたって、社会・経済情勢を踏まえるとともに、高砂市総合計画や東播都市計画区域の整備、開発及び保全の方針など上位・関連計画との整合を図りながら、今後（おおむね 20 年）の都市計画に関する基本的な方針を定めるものです。

マスタープランの中で明姫幹線南地区は、沿道業務地、農住環境共生地（田園優良住宅地）に位置づけられています。沿道業務地では、幹線道路の沿道利用という特色を活かし、隣接する区域への影響を配慮しながら、業務系の土地利用を誘導します。農住環境共生地（田園優良住宅地）では、市街化調整区域の中で、優良な農地と調和した住宅の立地を誘導する区域としますが、都市基盤が未整備な箇所については、周辺を含めた対策を目指します。



## 平成22年度事業報告

役員会、各部会の開催

(役員会 4回(うち五役会 3回)、広報部会 5回 開催)

## 平成23年度活動計画

### 1. まちの将来像実現のための取り組み

- ・協定違反物件防止活動
- ・市街化調整区域にふさわしいまちづくりの検討

### 2. まちづくり協議会活動

- ・役員会、総会の開催
- ・広報部会開催「みんなのまちづくり」の発行
- ・環境管理部会開催「現況調査の実施」
- ・行政および関係団体との連携・調整

### 3. その他、まちづくり協議会の目的達成のために必要なこと



## 平成22年度決算報告

収入額	404,552円
支出額	101,200円
差引	303,352円 (平成23年度へ繰越し)

## 平成23年度予算

収入額	409,000円 内訳 (繰越金 303,352円) 市助成金 100,000円 広告料、その他 5,648円
支出額	409,000円

(広告)

### 「みんなのまちづくり」への 広告募集について

協議会の活動資金を得るため、「みんなのまちづくり」への広告を募集しています。約4cm×8cmのサイズで1口(2回掲載)5,000円となっています。この「みんなのまちづくり」は明姫幹線南地区の地権者等に約750部配布しています。「広告を出してもいいかな」と思われた方は事務局までご一報ください！  
ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

協議会の運営やまちづくりに関するご質問は、各地区役員及び事務局に遠慮なくお問い合わせ下さい。

明姫幹線南地区まちづくり協議会 事務局：高砂市まちづくり部まちづくり推進課

TEL：079-443-9033

FAX：079-443-9091

e-mail:tact3810@city.takasago.hyogo.jp